

SHD2021 座長マニュアル

- 時間管理のため、事前に、ログインする PC の時計を正確なものにしておいてください。方法については「pc 時刻合わせ」などでインターネット検索すれば出て来ます。
- 一講演あたり、15 分発表、5 分質疑応答（交代時間含む）の計 20 分です。
- 発表 5 分前までに各講演室（ブレイクアウトルーム）に入室してください。まずメインルームに入室して、画面下の「ブレイクアウトルーム」のボタンを押すと、部屋名（とその部屋にいる参加者名）のリストのウィンドウが出て来ます。そして入りたい部屋の「参加」をクリックすれば入室出来ます。
- Zoom の表示名は、「座長_氏名_所属」としてください（例：座長_中島求_東工大）。Zoom ミーティングルームに入ってから変更する場合には、「参加者」ボタンをクリックして参加者ウィンドウを出し、自分の名前にマウスポインターを持って行き「詳細」→「名前の変更」で行えます。
- 実行委員会メンバーが「共同ホスト」に設定します。これにより、参加者のマイクのオンオフ操作も行うことが出来ますので、もし発表中、マイクをオフにし忘れていた参加者がいれば、座長権限としてオフにしてください。
- 発表者の出欠確認、接続テストは行う必要ありません。発表者には発表の 5 分前に入室するように伝えてあり、セッション中の部屋の移動も出来ますので、発表者はギリギリになってから入室するかもしれません（それでも OK としています）。また接続テストは別途 Speaker's room で行うこととしており、講演室では行いません。
- 時間管理は絶対時間（時刻）にて行ってください。セッション開始時刻 1 分前になったら、セッション名と自己紹介を行い、最初の発表者を紹介してセッションを開始してください。
- 時間管理のため、発表者に画面共有されても、全画面表示にしないで、PC の時刻が見られる状態にしてください。全画面表示になった場合は ESC キーで抜けられます。Zoom の設定で、そもそも全画面表示にしないようにすることも出来ます。
- 発表者の機器トラブルにより発表開始が遅れても、5 分以内であればそのまま発表させてください。またその場合でも、終了時間をずれこませることは決してしないでください。質疑応答の時間をその分短くしてください。
- 機器トラブルにより、発表者が開始予定時刻を 5 分過ぎても発表を開始できなかった場合には、当該発表が最終日の「バックアップセッション」に回ることを講演室内の参

加者に宣言するとともに、セッション終了後でも構いませんので、実行委員会メンバーに口頭、チャット、メールなどの方法で、その旨ご連絡ください。

- 万が一、発表者が開始予定時刻を5分過ぎても現れなかった場合には、その発表は取り消しとし、実行委員会メンバーに口頭、チャット、メールなどの方法で、その旨ご連絡ください。
- 質疑応答の時間中、質問がある参加者は、Zoomの挙手機能を用いて手を挙げます。誰が手を挙げているかは参加者ウィンドウに表示されます。参加者ウィンドウは、参加者ボタンをクリックすれば表示されます。参加者ウィンドウでは、手を挙げた順番に上から参加者が表示されますので、上に表示されている参加者から指名してください。質問者のマイク、ビデオのオンオフは質問者自身に行わせてください。
- 開始時刻から19分が経過したら、質疑応答が続いていても打ち切って次の講演に移行してください。その際には、引き続きの議論はアフターセッションディスカッションの時間で行える旨をご説明ください。万が一、発表が19分で終わらない場合にも、発表を打ち切って、アフターセッションディスカッションの時間に希望者に対して説明するように発表者に伝えてください。
- 各講演の開始時刻が1分以上遅れないように時間管理をお願いいたします。逆に、質問が無く早めに発表が終了しても、次の発表を開始予定時刻より早く始めないようにお願いいたします。発表者が現れなかった場合も同様に、次の発表を繰り上げて開始しないようにしてください。
- セッション終了時に、下記を読み上げてください。
 - 「この後は、20分間のアフターセッションディスカッションの時間となりますので、発表者の方はそれぞれ指定されたテーブルにご移動してご待機ください。参加者の方はご自由にテーブルをご移動いただきディスカッションをお楽しみください。またメインルームにて展示企業紹介が行われる場合もあります。詳細はプログラムをご覧ください。なお次のセッションの発表者の接続テストは講演室では行えません。別途設けられたSpeaker's roomをご利用ください。」
- 以上で座長業務は終了です。アフターセッションディスカッションの時間は座長の業務はありません。一参加者に戻っていただいて結構です。